資料 E.FORUM2015
スタンダード第一次案改訂に向けて（英語・赤沢）

小・中・高を通じた目標及び内容の主なイメージ（「英語教育の在り方に関する有識者会議」報告　抜粋）

下線は、現行と異なる部分

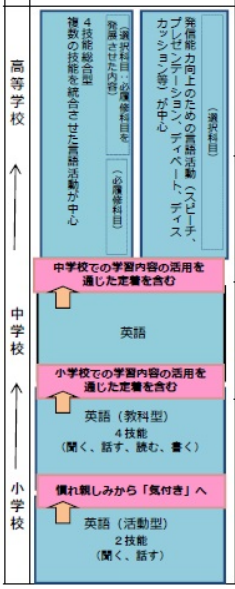
	小学校高学年		中学校	
教科等の目標	外国語を通じて，言語や文化について体験的に理解を深め，積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度の育成を図り，身近で簡単なことについて外国語の基本的な表現に関わって聞くことや話すことなどのコミュニケーション能力の基礎を養う。 <ポイント> ・身近で簡単なこと ・コミュニケーション能力の基礎		外国語を通じて，言語や文化に対する理解を深め，積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度の育成を図るとともに，身近な話題についての理解や表現，簡単な情報交換ができるコミュニケーション能力を養う。 <ポイント> ・身近な話題 ・理解，表現，情報交換できるコミュニケーション能力	
英語等の目標	<英語> (1)身近で簡単なことについて話される初歩的な英語を聞いて話し手の意向などを理解できるようにする。 (2)身近で簡単なことについて，初歩的な英語を用いて自分の考えなどを話すことができるようにする。 (3)アルファベットや単語に慣れ親しみ，英語を読むことに対する興味を育てる。 (4)アルファベットを書くことに慣れ親しみ，英語を書くことに対する興味を育てる。 <ポイント> ・身近で簡単なこと ・初歩的な英語		<英語> ○身近な話題について話される英語を聞いて話し手の意向などを理解できるようにする。 ○身近な話題について，英語を用いて自分の考えなどを話すことができるようにする。 ○身近な話題について書かれた英語を読んで書き手の意向などを理解できるようにする。 ○身近な話題について，英語を用いて自分の考えなどを書くことができるようにする。 <ポイント> ・身近な話題 ・自分の考えなどの表現 ・相手の意向などの理解	
指標形式の目標	「話すこと」(発表) Spoken Production 【SP】 【SP1】自分の考えや気持ち，事実などを，聞き手を意識しながら初歩的な英語で伝えることができるようにする。 【SP2】与えられたテーマについて初歩的な英語で簡単なスピーチをすることができるようにする。	「話すこと」(やりとり) Spoken Interaction【SI】 ○聞いたことに相づちをうったり，感想を言ったりすることができるようにする。	「話すこと」(発表) Spoken Production 【SP】 【SP1】自分の考えや気持ち，事実などを，聞き手を意識しながら英語で伝えることができるようにする。 【SP2】自分の意見や主張を基に，与えられたテーマについて短いスピーチをすることができるようにする。	「話すこと」(やりとり) Spoken Interaction【SI】 ○聞いたり読んだりしたことなどについてほかの人と話し合い，理解したことを確認したり，意見を伝え合ったりすることができるようにする。
	<ポイント> ・相手を意識　・初歩的な英語		<ポイント> ・「発表」：小学校からの接続　・「やりとり」：話し合いと伝え合い	

130

次期学習指導要領「外国語」における国の指標形式の主な目標（イメージ）案（秋以降、専門的に検討予定）

➢ 国の目標では、小・中・高等学校の学びを円滑に接続させる、②「英語を使って何ができるようになるか」という観点から一貫した教育目標（指標形式の目標を含む）を示す。
➢ 学校では、英語を使って何ができるようになるかという観点からCAN-DO形式の学習到達目標を設定し、それに基づく指導と学習評価（筆記テストのみならず、スピーチ、インタビューテスト、エッセー等のパフォーマンス評価、観察等）

※CEFRとは、シラバスやカリキュラムの手引きの作成、学習指導教材の編集のために、透明性が高く分かりやすく参照できるものとして、20年以上にわたる研究を経て、2001年に欧州評議会（Council of Europe）が発表。



CEFRレベル	聞くこと	読むこと	話すこと（やり取り）	話すこと（発表）	書くこと
B1	・ゆっくりはっきりと、馴染みのある発音で話されれば、身近な話題に関する比較的長い会話や身近な事柄に関する説明の概要や要点を理解できるようにする。	・身近な話題に関する比較的短い記事、レポート、資料の概要や要点を理解し、必要な情報を読み取ることができるようにする。	・身近な話題や知識のある話題について、平易な英語を用いて情報や意見を交換することができるようにする。	・時事問題や社会問題いついて、具体的に説明するとともに、自分の意見を加えて話すことができるようにする。	・関心のある分野の話題について、つながりのある文章で具体的に説明するとともに、自分の意見を加えて書くことができるようにする。
A2	・ゆっくりはっきりと、馴染みのある発音で話されれば、身近な話題に関する短い会話や身近な事柄に関する短い説明の概要や要点を理解できるようにする。	・身近な話題に関して平易な英語で書かれた短い説明を読み、概要や要点を理解できるようにする。	・日常生活に関する事柄や個人的な関心事（趣味、学校など）について，ある程度準備をすれば会話に参加することができるようにする。	・身近な話題について、簡単な語句や文を用いて、自分の意見やその理由を短く述べることができるようにする。	・身近な事柄（自分、学校、地域など）について、簡単な語句や文や用いて、短い説明文を書くことができるようにする。
A1	・ゆっくりはっきりと、馴染みのある発音で話されれば、身の回りの事柄（自分、学校、地域など）に関するごく短い会話や説明を理解することができるようにする。	・興味のある話題に関して平易な英語で書かれたごく短い説明を読み、イラストや写真を参考にしながら、概要を理解することができるようにする。	・ごく身近な話題であれば、基本的な表現を用いて簡単な質疑応答をすることができるようにする。	・身近な話題について、発表内容を準備した上で、簡単な語句を用いて複数の文で意見を述べることができるようにする。	・自分に関するごく限られた情報（名前、年齢、趣味、好き嫌いなど）を、簡単な語句や文で書くことができるようにする。
(Pre-A1)	ゆっくりとはっきりと、繰り返し話されれば、 ・短い簡単な指示や挨拶を理解することができるようにする。 ・身近な具体的な事物を表す単語を聞き取ることができるようにする。	・身近で具体的な事物を表す単語の意味を理解することができるようにする。 ・アルファベットを見て識別し、発音できるようにする。	・相手のサポートがあれば、個人的な関心事（趣味、学校など）についての質問に答えることができるようにする。 ・日常の挨拶をしたり、挨拶に応答したりすることができるようにする。	・自分に関するごく限られた情報（名前、年齢、好き嫌いなど）を、簡単な語句を用いて伝えることができるようにする。 ・定型表現を用いて、簡単な挨拶ができるようにする。	・例文を参考にしながら，慣れ親しんだ語句や文を書くことができるようにする。 ・アルファベットの大文字と小文字をブロック体で書くことができるようにする。

複数の技能を統合的に扱う言語活動を通して求められる英語力を身に付ける

131

出典：文部科学省教育課程部会　教育課程企画特別部会（第 7 期）（第 14 回）2015 年 8 月 20 日配付資料（資料 2　教育課程企画特別部会　論点整理（案）　補足資料（2））
http://www.mext.go.jp/b_menu/shingi/chukyo/chukyo3/053/siryo/__icsFiles/afieldfile/2015/08/21/1361102_2_2.pdf